

FIRMANSYAH Antonius

神学部 神学科 助教 (フィルマンシャー アントニウス)



研究テーマ

典礼神学、司牧神学

主な授業担当科目

典礼神学、キリスト教とコミュニケーション、典礼と霊性、キリスト教人間学

学歴・職歴・取得学位・受賞歴

2002//07/10 ドリヤルカラ哲学大学 (インドネシア) 卒業 ■ 2010/03/31 上智大学神学研究科修士課程修了 修士 (神学) ■ 2014/09/05 イエズス会サンタクララ大学神学研究科博士課程修了 博士 (神学)

主な著書・論文等

Transparent Society: the Hope from Postmodernism According to Gianni Vattimo (『Driyarkara』, 2002年) ■ 「Symbolic Engagement of Liturgy in the Globalized World」 (『カトリック研究』2017年 86号) ■ 「インドネシアにおける宗教」 (『道』, 2020) ■ 「Sacred Space and Cultural Symbol」 (『Journal of Asian Orientation in Theology』, 2019) ■ 「Signs of Pandemic, Symbols of Hope: A Sketch of Pastoral Work in Liturgy」 (『Asia Pacific Mission Studies』, 2021) ■ 「教会共同体の文化的多様性とカテキスタの典礼的役割」 (『みんなで育む信仰』, 2022)

所属学会

Jungmann Society

教育・研究活動

典礼は人間の信仰を祝う出来事(イベント)です。しかし、人間の祝い方は各文化に異なります。故に、典礼は人間が持つ普遍的な人間性に元つきながら、その人間が活かしている文化の中から生まれる必要もあります。どのようにして、ある地方の文化の中で、人間が自分の祝いをコミュニケーションすることができようか？どのようにして典礼が、現代のデジタル文化の中に、信仰の対話を活かすことができようか。このような課題は典礼を刷新するために、改めて、再考察することを求めています。この課題を中心に、私は典礼と文化の対話の研究に関心をもっています。博士号の論文題名は『Human Body As The Medium For Active Liturgical Participation In The Digital Era』です。

社会的活動

海外から来る外国人のための司牧。カトリック教会の信徒の養成のための研修会。

趣味・学生に伝えたいこと

ギターを弾きながら歌を歌うのが自分の趣味です、どうぞ一緒に！